

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	広報すいどう発行事業		部課コード	2407	予算事業科目		事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	水道局	部長名(2次評価者)	橋詰 辰男		個別事務	0	-		
	担当部署	企画課	所属長名(1次評価者)	岡田 稔			-			
	電話番号	088-821-3235	E-mail	kc-240700@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	水道事業会計	目標	05 E その他の行政経費及び一般行政経費	政策基本方針	(その他の行政経費及び一般行政経費)
款	01 水道事業費用	政策	00 その他の行政経費及び一般行政経費		
項	01 営業費用	施策	00 その他の行政経費及び一般行政経費		
目	07 総係費	区分	00 その他の行政経費及び一般行政経費		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画, 覚書等)	高知市水道事業基本計画2007(基本施策: 2-4 お客さまサービスの向上)	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	すべての高知市民		
意図	どのような状態にしていのか	水道に関する情報をわかりやすく、平等に市民に知らせる。		
手段	事業実施体制等	水道に関する情報を広報紙として発行、全戸配布する。	事業開始年度	昭和43年
			事業終了年度	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	広報すいどうを年4回(1月, 4月, 7月, 10月)発行する。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A			
	B			
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標						
		実績						
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	4,215	4,584	4,471	6,149		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	4,215	4,584	4,471		6,149
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	1,500	1,500	1,500	15,000		
		正規職員 (千円)	1,500	1,500	1,500	15,000		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.20	0.20	0.20	2.00		
		正規職員 (人)	0.20	0.20	0.20	2.00		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		5,715	6,084	5,971	21,149			
市民1人当たりコスト (円)	17	18	18		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	341,544	340,695	339,714					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 10 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	4.0	「広報すいどう」は、高知市の水道に関する情報を市民に知らせるための手段として必要不可欠なものである。また、水道法においても水道の需要者に対して水道事業者が水質検査の結果その他水道事業に関する情報を提供するように義務付けられている。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
事業実施の必要性	② 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B		
		B (3) 横ばいである			
		C (1) 少ない、減少している			
		D (0) ほとんどない			
事業内容の有効性	③ 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B	3.0	限られた紙面で、水道事業全般に関する情報を調整・整理しながら掲載しているが、より情報提供の充実が必要と考えている。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
事業内容の有効性	④ 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B	3.0	民間委託を行っても資料の提供、記事の修正・校正等の事務量の削減はむづかしいこと、また、現在広報紙用に作成した地図、イラスト、写真等はすべて水道局が著作権を有しているためパンフレット等作成時に2次利用をおこなっているが、広報紙発行を委託すると2次利用が難しくなるなど弊害もあることから、直営での発行が望ましいと考える。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の効率性	⑥ 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	現在広報すいどうは市長部局の広報紙「あかるいまち」に挟み込んで全戸配布を行っていることから水道契約世帯にも配布されている。しかし、外出の際には高知市の水道を利用することもあることから、現状でも配布方法で問題ないと考えている。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
事業実施の公平性	⑧ 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	15.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 24 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	1次評価のとおり
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--